（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（諏訪地域）

平成２８年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	遊休地を活用した農業体験を通じた街づくり
事業主体 （連絡先）	岡谷市岡谷区 ０２６６－２２－２６０３
事業区分	(８)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	９３５，５０９　　円（うち支援金：　６９３，０００　円）

事 業 内 容

・管理不在の遊休地を活用し農業体験を実施約 5000 ㎡
・農業体験事業としては玉ねぎ、大根、ネギ、野沢菜さつま芋、じゃが芋、ソバ等を栽培した
・昨年植え付けたブルーベリーについては本年は実をつけないよう処理し次年度以降の収穫準備をおこなった、なお一部品種で生育不良を起こしたため追加植栽を実施
・収穫物を活用した焼き芋大会、ソバ打ち講習会、一人暮らし高齢者への配食、など多くの子供。区民の参加があった
・前年度購入したﾋﾞﾆｰﾙﾊｳｽは本年組み立てを行いハウス内の土壌改良を実施

（ネギ植付け）

【　　】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・本年耕作した約 5000 ㎡は荒廃から解消された
・天候不順による作業日数減少はあったが前年並みの延 350 人の参加があった農業従事者は 60 歳台以上で最高齢は 83 歳の参加者
・じゃが芋約 300 kg、玉ねぎ約 500 個、長ネギ 1000 本ソバ 10 kg、野沢菜 100 kg、さつま芋 50 kgの収穫
・小学校は閉校となったため植付け体験は出来なかったが焼き芋大会は 150 名の親子が参加し成功した
・ソバ打ち講習は計画通り実施、試食には多くの区民（約 70 名）が参加し人気があった

【目標・ねらい】

①有休荒廃地の活用
②区民による農業体験
③農作物を活用した事業の充実
④継続性を持った事業展開

※自己評価【Ｂ】

【理由】
・天候不順により予定の収穫が出来なかった
・御柱祭で人集めに苦労があった
・収穫物の活用は好評でよかった

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・本年で支援金事業としては最終年であったが、継続事業としての基礎ができたのでさらに発展させたい
・そのため体験従事者の増員、体験日数の増加、ブルーベリー園、イチゴ栽培の拡充で地域住民の憩いの場作りとする
・事業を農業体験に終わることなく、街づくりにつながる事業に発展させる

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「Ａ」：予定を上回る効果が得られた　「Ｂ」：予定していた効果が得られた
「Ｃ」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある